

平成 24 年度 第 108 委員会活動結果報告書

第 108 委員会事務局 JBMIA

1. 第 108 委員会（オーディオ・ビデオ及び情報技術機器の安全性）

1-1. 活動概要（全体）	委員長	羽鳥 光俊
1-2. MT1 分科会活動概要	主査	塩田 武彦
1-3. MT2 分科会活動概要	主査	柴田 恵
1-4. HBS 分科会活動概要	主査	近藤 孝彦
1-5. WG 環境分科会活動概要	主査	並河 治
1-6. JIS C 6065 改正原案作成活動概要	主査	山本 久義
1-7. JIS C 6950-1 改正原案作成活動概要	主査	柴田 恵
1-9. JIS C 62368-1 原案作成活動概要	主査	正木 伸宏
1-10. 端末設備規定検討活動概要	主査	正木 伸宏
1-11. その他 Ad Hoc 委員会活動	副委員長	佐藤 幸一

（参考 1）国際規格回答原案等リスト

（参考 2）国際会議出席者リスト

（参考 3）関連国際規格の現状と今後の計画（見通し）

1. 第108委員会（オーディオ・ビデオ及び情報技術機器の安全性）

委員長 羽鳥 光俊

1.1 活動概要（全体）

平成24年度は、17件の国際規格回答原案等について審議を行った。主な内容は、(1)に示すとおりである。なお、国内規格については、IEC 62368-1 初版対応ならびにその後のIEC 62368-1 第2版審議の内容を睨みながらJIS原案作成検討の活動を行なった。MT1分科会、MT2分科会、HBS分科会、WG環境分科会及びJIS原案作成検討会の詳細は、各分科会活動概要の項参照。

(1) 国際規格対応について

平成24年度は、TC108から発行される審議文書について、下記17件の投票を行った。尚、図記号に関して、SC3C国内委員会とリエゾン関係を結び協調して活動を行なった、また、リチウムイオン電池、音圧規制等については専門家との意見交換を行い、日本意見への展開を図った。

詳細は、添付資料“(参考1)平成24年度国際規格回答原案等リスト”参照。

又、平成25年11月に開催される国際会議に向けて、各分科会でTC108の審議文章を審議中である。

・ NP (New Work Item Proposal) :	0 件
・ CD (Committee draft for comment) :	0 件
・ DC (Document for Comments) :	7 件
・ CDV (Committee Draft for Vote) :	8 件
・ FDIS (Final Draft International Standard) :	2 件
・ DTR (Draft Technical Report) :	0 件
・ Q (Questionnaire) :	0 件

(2) 国内規格対応について

1) IEC 整合 JIS 原案の審議

JIS原案作成検討グループ及びJIS原案作成委員会を開催して改正原案の審議を行った。

- ・ JIS C 6065 : オーディオ、ビデオ及び類似の電子機器—安全性要求事項
改正 JIS C6065 (IEC 60065+Amd. 1+Amd. 2 対応) が 3 月に官報告示された。
- ・ JIS C 6950-1 : 情報技術機器—安全性—第 1 部 : 一般要求事項
JIS C 6950-1 追補版 (IEC 60950-1:2nd Amd. 1 対応) を審議した。
- ・ IEC 62368-1 対応 JIS : オーディオ、ビデオ、情報及び通信技術機器—第 1 部 : 安全性要求事項
平成 25 年度の完成を目標に IEC 62368-1 初版および TC108/455/DC 文書等を審議

した。

- 2) 電気用品安全法技術基準省令第1項及び省令第2項
特記事項なし

1.2 MT1 分科会活動概要

主査 塩田 武彦

旧 TC92 が扱っていた規格、IEC 60065『オーディオ、ビデオ及び類似の電子機器—安全性要求』の改定提案プロジェクトを扱う IEC/TC108 のメンテナンスチーム 1 (MT1) に対応する国内組織として、下記の審議を行った。

(1) 国際規格対応について

IEC 60065 第8版の CDV 及び 2ndCDV 文書に対し、日本から提案をし、以下の通り採用された。また、分科会を2回開催し、関連文書の審議を行うとともに、6月に TC108/MT1 ノースブルック会議、3月に TC108/MT1 バンコク会議に参加し、日本意見の反映を行った。

文書番号	表題及び概要	日本意見概要
108/478/CDV	IEC 60065 Ed8.0: Audio, video and similar electronic apparatus - Safety requirements IEC 60065 第8版 CDV	技術的なコメントを2件、エディトリアルなコメントを4件提出し、うち5件が採用された。
108/496/CDV	IEC 60065 Ed8.0: Audio, video and similar electronic apparatus - Safety requirements IEC 60065 第8版 2 nd CDV	技術的なコメントを2件、エディトリアルなコメントを10件提出した。

(2) 国内規格対応について

MT1 分科会では、取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

2013 年度は、IEC 60065 第8版の FDIS に対するコメントについて検討が行われ、その後 IS が発行される予定であるため、その対応及び、国内での規格の審議と国際会議への参加を継続する。また、一回目の CDV 文書で却下された外部着火に関する要求事項の検討が今回の第8版とは別途検討されるため、審議を継続する。

(4) 平成 25 年度国際会議予定

- ・MT1 ドイツ/シュトゥットガルト (H25.11)

1.3 MT2 分科会活動概要

主査 柴田 恵

旧 TC74 が扱っていた規格、IEC 60950 『IT 機器の安全』 パート1 (一般要求) 及びパート2 (個別要求) の改定提案プロジェクトを扱う IEC/TC108 のメンテナンスチーム2 (MT2) に対応する国内組織として、下記の審議を行った。

(1) 国際規格対応について

平成 24 年度は、IEC 60950-1 第 2 版 修正 No. 2 案の審議のために、米国ノースブルック (2012 年 6 月) 及びタイ・バンコク (2013 年 3 月) で開催された TC108/MT2 会議へ参加し、日本意見の反映を行った。

審議した文書と日本意見の概要は、下表の通り。

文書番号	表題及び概要	日本意見概要
108/507/FDIS	IEC 60950-1-A2 Ed 2.0: Information technology equipment - Safety - Part 1: General requirements VDRとGDTとを直列にして絶縁をブリッジする事に関する事項、PVC又はゴム絶縁以外の電源コードを認める要求などの他、日本から提案した図2H及び表2Lの修正などが含まれる	賛成 コメント無し

(2) 国内規格対応について

MT2 分科会では、取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

IEC 60950-1 第 2 版 修正 No. 2 は上記 FDIS が最終で、今後は IEC60950 Part 2 の改訂作業が実施される。国内での審議と国際会議への参加を継続する。

(4) 平成 25 年度国際会議予定

- ・MT2 ドイツ/シュトゥットガルト (H25. 11)

1.4 HBS 分科会活動概要

主査 近藤 孝彦

将来 IEC 60950-1 及び IEC 60065 から移行される予定となっている規格 IEC 62368-1 『オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器 - パート1 : 安全性要求』の規格開発を扱う IEC/TC108/HBSDT に対応する国内組織として、次の審議を行った。

(1) 国際会議&審議状況

平成 24 年度は、IEC 62368-1 第 2 版に対する CDV を審議するため、分科会を 4 回開催し、関連文書の審議を行うとともに、米国ノースブルック (2012 年 5-6 月) 及びタイ・バンコク (2013 年 3 月) で開催された TC108/HBSDT 会議へ参加し、日本意見の反映を行った。審議した文書と日本意見の概要は、下表の通り。

文書番号	表題及び概要	日本意見概要
------	--------	--------

文書番号	表題及び概要	日本意見概要
108/476A/DC	TC108 proposal for technical requirements for coin cell batteries for use with equipment コイン電池の誤飲に対する要求提案	賛成投票。ただしコイン電池の収納に対する要求事項などの技術的な内容、及び編集上の修正を含め、2件のコメントを提出。
108/479/CDV	IEC 62368-1 Ed 2.0: Audio/video, information and communication technology equipment - Part 1: Safety requirements 第2版においては要求事項をより明確とするとともに、VDRとGDTとを直列にして絶縁をブリッジする事に関する事項、及びロウソクの炎からの耐性に対する要求事項が追記することとした。	賛成投票。ただし、機械的安定性試験、DCモータに対する技術的な要求、及び編集上の修正を含め、51件のコメント提出。
108/482/DC	TC108 proposal for revision of IEC/TR 62368-2, ed 1, Audio/video, information and communication technology equipment - Part 2: Explanatory information related to IEC 62368-1 IEC 62368-1 Ed 2.0に関連した説明情報で、要求事項の根拠を示した文書。(108/479/CDVに合わせた文書)	賛成投票。ただし温度制限値の直線補間に関して、1件のコメントを提出。
108/484/DC	TC108 position on the use of so-called “Zero Loss Automatic X Capacitor Discharge IC” プラグの極間にたまった電荷の放電回路に使用する IC に対する要求。	賛成投票
108/495A/CDV	IEC 62368-1 Ed 2.0: Audio/video, information and communication technology equipment - Part 1: Safety requirements 108/479/CDVが否決されたことによる 2nd CDV。VDRとGDTに対する要求事項の修正、ロウソクの炎からの耐性に対する要求事項が削除され、108/482/DC、108/484/DCの内容が取り入れられた。	賛成投票。ただし、放射危険に対するクラス分け音圧測定に対する引用規格の変更などの技術的内容、及び編集上の修正を含め、90件のコメントを提出。
108/501/DC	TC108 WG/HBSDT proposal for requirements for immersion cooling in IEC 62368-1. 液体に浸すことにより冷却するシステムに対する要求。	液体が減量した時の措置、材料の劣化に対する要求事項が明確でないことをコメント。
108/505/DC	TC108 proposal for revision of IEC/TR 62368-2, ed 1, Audio/video, information and communication technology equipment - Part 2: Explanatory information related to IEC 62368-1 IEC 62368-1 Ed 2.0に関連した説明情報で、要求事項の根拠を示した文書。(108/495A/CDVに合わせて修正された文書)	賛成投票。

(2) 国内規格対応について

HBS 分科会では取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

IEC 62368-1 第2版のCDV (108/495A/CDV) は可決されたが、日本コメントの全てが反映されてはいないので、今後予定される第3版の開発に向け積極的に提案を行い、また国際会議にも参加して意見具申を行なう必要がある。また、音響及び光放射などの他の国内委員会との意見交換も行い対応する予定である。

(4) 平成25年度国際会議予定

- ・HBSDT ドイツ/シュトゥットガルト (H25.11)

1.5 WG環境分科会活動概要

主査 並河 治

平成20年度末にTC108 WG ENV (旧WG10) が発足され、IEC 62075, IEC 62018 のメンテナンス、及び省エネの新ワークアイテム「IEC 62623 Ed 1.0: Measuring the Energy Consumption of Personal Computing Products」を担当する。IEC 62623 の FDIS に YES 投票を行った。WG 環境分科会を5回(4/5, 6/4, 7/23, 9/18, 12/8)開催し審議した。TC108 の環境分野については、IS 化済の規格から順次 TC100 へ移管することとなっている。環境分科会の F2F 会議は12月8日にて終了、環境分科会は国際の WG ENV の終了を確認後正式解散とする事とした。2013年3月現在、IEC 62623, IEC 62075 共に IS 発行済。

(1) 国際規格対応について

以下の文書の審議・確認を行ない、下記の対応をとった。

文書番号	表題及び概要	対応・結果等
108/490/FDIS	IEC 62623 Ed. 1.0 Desktop and notebook computers - Measurement of energy consumption	賛成

(2) 審議状況

1) 国際会議

TC108 WG ENV の開催なし。

2) 国内委員会

WG 環境分科会を5回開催し、IEC 62623 の審議をした。

また、第108委員会では扱う環境分野については、TC100 国内委員会へ原則として IS 化された規格は移管されることが確認されており、TC100 の状況も共有した。

(3) 今後の主要課題

国際の活動予定なし、国際の WG ENV の終了を確認する。その後国内環境分科会を正式解散する。

1.6 JIS C 6065 改正原案作成活動概要

主査 山本 久義

(1) 概要

平成 22 年 3 月に開始した「IEC 60065 Ed. 7 Amd. 2」に対応する「JIS C6065 改正原案（全面改正版）」の作成活動は、3 月の JISC6065 改正官報告示をもって、完了した。本 JIS は、電気用品安全法技術基準省令の解釈に採用される予定である。

(2) 今後の主要課題

現在、TC108 では、「IEC 60065 Ed. 8」の審議中であり、この版に対応する「JIS C6065 改正原案」の作成に着手する予定である。

1.7 JIS C 6950-1 改正原案作成活動概要

主査 柴田 恵

(1) 概要

平成 24 年 3 月に立ち上げた JIS C 6950-1(追補)原案作成検討会を、8 月までに計 5 回開催し、IEC 60950-1 の修正 No. 1 に対応した JIS 原案を作成した。JIS C 6950-1 追補版原案作成委員会を 10 月、12 月に開催し、原案を審議した。その後、JSA のチェックを受け原案を完成させ、平成 25 年 3 月に JISC へ提出した。

(2) 今後の主要課題

上記の JIS C 6950-1(追補)原案が、JIS として発行されるまでフォローを行うとともに、現在 FDIS の段階にある IEC 60950-1 の修正 No. 2 が発行された時点で、修正 No. 2 の内容も含み、JIS C6950-1 の全面改訂に取り組む。

1.9 JIS C 62368-1 原案作成活動概要

主査 正木 伸宏

(1) 概要

オーディオ/ビデオ、及び情報/通信機器の新安全規格 IEC 62368-1 Ed. 1（平成 22 年 1 月に IEC 規格として発行）改訂版 IEC 62368-1 Ed. 2（平成 25 年 11 月に IEC 規格制定予定）に対して、JIS 原案を作成・提出する為、WG で活動を行った。平成 23 年は、月に 1 回の検討会を実施して IEC 62368-1 Ed. 1 及び TC108/495/CDV をベースに JIS に即した原案の審議を 11 回行った。（日本デビエーションの検討完了。）

スケジュール：原案作成 ： 平成 26 年 1 月予定

最終案完了・提出： 平成 26 年 3 月予定

(2) 今後の主要課題

IEC 62368-1 Ed. 2 に向けた FDIS 文章の取り込み（平成 25 年 8 月頃）を行う。また、国内に対応したデビエーションに関連工業会の意見を盛り込み IEC 62368-1Ed. 2 IS 発

行に合わせて原案作成完了に繋げていく。

1.10 端末設備規定検討活動概要

主査 正木 伸宏

(1) 概要

平成 21 年 6 月 16 日に総務省より公表された『IP 電話端末等に関する技術的条件』に対して、その後総務省より正式にペンディングが発表された。(平成 22 年 12 月 8 日) 本発表を受けて活動を一時停止中である。

(2) 今後の主要課題

総務省での法規化に対するスケジュールが明確になっていない状況に鑑み、当グループの活動は休止とする。今後は、第 108 委員会が情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ) と協力して外部状況の注視を行っていく。

1.11 その他 Ad Hoc 委員会活動

副委員長 佐藤 幸一

リチウムイオン電池使用機器の安全要求検討 (リーダー：原田)

HBS 分科会の有志とリチウムイオン電池メーカーの専門家有志との共同で構成された附属書 M 電池タスクフォースでは、IEC62368-1 第 2 版のための CDV 文書 (108/479/CDV) 中の附属書 M について内容の検討を行い、修正提案を作成して HBS 分科会に報告した。6 月の TC108/HBSDT シカゴ会議での審議の結果、日本からの落下試験手順の明確化を図る修正原案に、米国からのコメントである、落下後の充放電サイクルでの確認を追加することで、BatteryAdhoc の同意及び HBSDT の承認が得られ、2ndCDV へ反映することができた。また、108/495A/CDV のコメント検討を実施し、3 月バンコク会議で、M4.4 章の構成の修正案を提案し、2013 年 5 月の EdCom で採用される見通しとなった。

以上